

記入要領

- ・当該事業によるアウトカム指標の変化を把握
- ・道路種別により、評価項目は適宜変更
- ・効果が認められる評価項目は□を■に変更
- ・●印の評価項目については定量的評価の結果を記載

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道9号 駈馳山バイパス
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	費用便益比 (B/C)=1.2 (経済的純現在価値 (B-C) =133億円)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力 円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	(当該区間/並行区間) について：国道9号 (鳥取市福部町湯山～岩美郡岩美町本庄) 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間：約57.1万人・時間/年 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率：約97%削減	
	□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される		
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	路線バス (岩美駅～湯山方面：往復41便/日) の利便性向上が見込まれる	
	■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	岩美町から特急停車駅の鳥取駅までのアクセスが向上する (所要時間が5分短縮)	
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	岩美町から鳥取空港までのアクセスが向上する (所要時間が5分短縮)	
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	岩美町から境港までのアクセスが向上する (所要時間が5分短縮)
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	二十世紀なし「鳥取市福部地区」及び松葉ガニ(ズワイガニ)「岩美町」を始めとする、農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する			
□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり			

		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築		<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	地域高規格道路：鳥取豊岡宮津自動車道の一部を構成(平成6年12月指定)、駈馳山BP整備区間指定(平成7年4月28日)
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象地区：岩美町 日常活動圏中心都市：鳥取市 改善見込み(所要時間5分短縮) ※現況はH17センサ混雑時旅行速度、将来は駈馳山バイパス本線部を80km/h、アクセス部を60km/hと設定し算出
個性ある地域の形成		<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	集客力のある鳥取砂丘(鳥取市)と浦富海岸(岩美町)を始めとする観光地の連携強化により、観光客の増加が期待される 「鳥取砂丘～浦富海岸：所要時間5分短縮」 アクセス向上が見込まれる観光施設：網代漁港、浦富海岸島めぐり遊覧船
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	岩美町から鳥取県立中央病院までの搬送時間：約5分短縮	
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	

		<p>■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</p>	第一次緊急輸送道路に位置づけ
		<p>■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強られる区間の代替路線を形成する</p>	国道9号（岩美町本庄～鳥取市福部）が通行止めになった際の迂回ルートとして大幅な時間・距離の短縮となる。
		<p>□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）</p>	
		<p>□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</p>	
		<p>□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p>	
4. 環境	地球環境の保全	<p>● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量</p>	CO2排出削減量：約400トン/年
	生活環境の改善・保全	<p>● 現道等における自動車からのNO2排出削減率</p>	<p>（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：指定無し NO2について環境基準を達成している測定局数の実績：測定局無し （推計結果） 評価対象区間：鳥取市北東部、岩美町北部 排出削減量：約5トン/年、排出削減率：約6%削減</p>
		<p>● 現道等における自動車からのSPM排出削減率</p>	<p>（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：指定無し NO2について環境基準を達成している測定局数の実績：測定局無し （推計結果） 評価対象区間：鳥取市北東部、岩美町北部 排出削減量：約1.6トン/年、排出削減率：約16%削減</p>
		<p>■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある</p>	国道9号の鳥取市福部町海士において、現況では夜間の騒音レベルが要請限度値を超過（74dB）整備後は、要請限度値を下回る（64dB）ことが予測される。 環境基準類型指定地域及び騒音規制区域の指定無し
		<p>□ その他、環境や景観上の効果が期待される</p>	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<p>□ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p>	
		<p>□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている</p>	
		<p>■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p>	平面・縦断線形不良区間の解消 工業・産業団地へのアクセス向上

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道9号	駟馳山バイパス	L=7.7km	2次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
11,300~16,400	4	中国地方整備局

## ① 費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成19年度		
単純合計	609億円	92億円	701億円
うち残事業分	470億円	92億円	562億円
基準年における 現在価値 (C)	506億円	35億円	541億円
うち残事業分	338億円	35億円	373億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成19年			
供用年	平成42年（完成供用）			
単年便益 （初年便益）	45億円	6.2億円	3.2億円	54億円
基準年における 現在価値（B）	548億円	82億円	44億円	674億円
うち残事業分	548億円	82億円	44億円	674億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.2
費用便益比（残事業）	1.8

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	11,300~16,400台/日	±10%	1.7~1.9
事業費	470億円	±10%	1.7~2.0
事業期間	22年	±5年	1.8~2.1
割引率	4%	±1%	1.6~2.1

## 交通状況の変化

事業名：駈馳山バイパス（事業全体・残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 7.7km	交通量	[台/日]	0	15,000	
	走行時間	[分]	0	6	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	25.39	
②主な周辺道路	現道(国道9号) : 7.2km	交通量	[台/日]	14,200	1,400
		走行時間	[分]	15	11
		走行時間費用	[億円/年]	58.45	4.04
	国道178号 : 2.8km	交通量	[台/日]	5,200	2,300
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	6.17	2.44
③その他道路合計 : 180.0km	走行時間費用	[億円/年]	87.37	75.35	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：197.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	151.99	107.22	44.77

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※1：交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2：走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3：走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：駟馳山バイパス

【 図面（①、②）に該当する道路を明示すること）】



## 費用便益分析の条件

事業名: 駈馳山バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成19年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input type="checkbox"/>	
	複数時点での推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H27、H42)	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H11センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の場合	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他( )		<input type="checkbox"/>	
その他( )	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を計	<input checked="" type="checkbox"/>	





# 費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 駒馳山バイパス(事業全体)

採用単価の根拠 高速道路

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.30	7.7	2.30

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-20年目	H 7	1.6010	0.30	0.48	0.00	0.00
-19年目	H 8	1.5395	0.50	0.77	0.00	0.00
-18年目	H 9	1.4802	1.00	1.48	0.00	0.00
-17年目	H 10	1.4233	7.40	10.53	0.00	0.00
-16年目	H 11	1.3686	6.40	8.76	0.00	0.00
-15年目	H 12	1.3159	22.70	29.87	0.00	0.00
-14年目	H 13	1.2653	19.90	25.18	0.00	0.00
-13年目	H 14	1.2167	24.70	30.05	0.00	0.00
-12年目	H 15	1.1699	24.60	28.78	0.00	0.00
-11年目	H 16	1.1249	5.70	6.41	0.00	0.00
-10年目	H 17	1.0816	3.50	3.79	0.00	0.00
-9年目	H 18	1.0400	8.08	8.40	0.00	0.00
-8年目	H 19	1.0000	13.30	13.30	0.00	0.00
-7年目	H 20	0.9615	17.50	16.83	0.00	0.00
-6年目	H 21	0.9246	39.22	36.26	0.00	0.00
-5年目	H 22	0.8890	39.86	35.44	0.00	0.00
-4年目	H 23	0.8548	62.33	53.28	0.00	0.00
-3年目	H 24	0.8219	39.63	32.57	0.00	0.00
-2年目	H 25	0.7903	35.34	27.93	0.00	0.00
-1年目	H 26	0.7599	33.04	25.11	0.00	0.00
暫定2車供用開始年次	H 27	0.7307	13.56	9.91	2.30	1.68
1年目	H 28	0.7026	13.56	9.53	2.30	1.62
2年目	H 29	0.6756	13.56	9.16	2.30	1.56
3年目	H 30	0.6496	13.56	8.81	2.30	1.50
4年目	H 31	0.6246	13.56	8.47	2.30	1.44
5年目	H 32	0.6006	13.56	8.14	2.30	1.38
6年目	H 33	0.5775	13.56	7.83	2.30	1.33
7年目	H 34	0.5553	13.56	7.53	2.30	1.28
8年目	H 35	0.5339	13.56	7.24	2.30	1.23
9年目	H 36	0.5134	13.56	6.96	2.30	1.18
10年目	H 37	0.4936	13.56	6.69	2.30	1.14
11年目	H 38	0.4746	13.56	6.44	2.30	1.09
12年目	H 39	0.4564	13.56	6.19	2.30	1.05
13年目	H 40	0.4388	13.56	5.95	2.30	1.01
14年目	H 41	0.4220	13.66	5.76	2.30	0.97
完成4車供用開始年次	H 42	0.4057	0.00	0.00	2.30	0.93
16年目	H 43	0.3901	0.00	0.00	2.30	0.90
17年目	H 44	0.3751	0.00	0.00	2.30	0.86
18年目	H 45	0.3607	0.00	0.00	2.30	0.83
19年目	H 46	0.3468	0.00	0.00	2.30	0.80
20年目	H 47	0.3335	0.00	0.00	2.30	0.77
21年目	H 48	0.3207	0.00	0.00	2.30	0.74
22年目	H 49	0.3083	0.00	0.00	2.30	0.71
23年目	H 50	0.2965	0.00	0.00	2.30	0.68
24年目	H 51	0.2851	0.00	0.00	2.30	0.66
25年目	H 52	0.2741	0.00	0.00	2.30	0.63
26年目	H 53	0.2636	0.00	0.00	2.30	0.61
27年目	H 54	0.2534	0.00	0.00	2.30	0.58
28年目	H 55	0.2437	0.00	0.00	2.30	0.56
29年目	H 56	0.2343	0.00	0.00	2.30	0.54
30年目	H 57	0.2253	0.00	0.00	2.30	0.52
31年目	H 58	0.2166	0.00	0.00	2.30	0.50
32年目	H 59	0.2083	0.00	0.00	2.30	0.48
33年目	H 60	0.2003	0.00	0.00	2.30	0.46
34年目	H 61	0.1926	0.00	0.00	2.30	0.44
35年目	H 62	0.1852	0.00	0.00	2.30	0.43
36年目	H 63	0.1780	0.00	0.00	2.30	0.41
37年目	H 64	0.1712	0.00	0.00	2.30	0.39
38年目	H 65	0.1646	0.00	0.00	2.30	0.38
39年目	H 66	0.1583	-27.20	-4.30	2.30	0.36
合計			581.30	505.52	92.09	34.63

単純事業費計	608.50	92.09
--------	--------	-------

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3)維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

## 費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)積算費除く

箇所名: 駒馳山バイパス(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.299	7.70	2.3023

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-7年目	H 20	0.9615	17.500	16.827	0.000	0.000
-6年目	H 21	0.9246	39.220	36.261	0.000	0.000
-5年目	H 22	0.8890	39.860	35.435	0.000	0.000
-4年目	H 23	0.8548	62.330	53.280	0.000	0.000
-3年目	H 24	0.8219	39.630	32.573	0.000	0.000
-2年目	H 25	0.7903	35.340	27.930	0.000	0.000
-1年目	H 26	0.7599	33.040	25.108	0.000	0.000
暫定2車供用開始年次	H 27	0.7307	13.560	9.908	2.302	1.682
1年目	H 28	0.7026	13.560	9.527	2.302	1.618
2年目	H 29	0.6756	13.560	9.161	2.302	1.555
3年目	H 30	0.6496	13.560	8.808	2.302	1.496
4年目	H 31	0.6246	13.560	8.470	2.302	1.438
5年目	H 32	0.6006	13.560	8.144	2.302	1.383
6年目	H 33	0.5775	13.560	7.831	2.302	1.330
7年目	H 34	0.5553	13.560	7.529	2.302	1.278
8年目	H 35	0.5339	13.560	7.240	2.302	1.229
9年目	H 36	0.5134	13.560	6.961	2.302	1.182
10年目	H 37	0.4936	13.560	6.694	2.302	1.136
11年目	H 38	0.4746	13.560	6.436	2.302	1.093
12年目	H 39	0.4564	13.560	6.189	2.302	1.051
13年目	H 40	0.4388	13.560	5.951	2.302	1.010
14年目	H 41	0.4220	13.660	5.764	2.302	0.971
完成4車供用開始年次	H 42	0.4057	0.000	0.000	2.302	0.934
16年目	H 43	0.3901	0.000	0.000	2.302	0.898
17年目	H 44	0.3751	0.000	0.000	2.302	0.864
18年目	H 45	0.3607	0.000	0.000	2.302	0.830
19年目	H 46	0.3468	0.000	0.000	2.302	0.798
20年目	H 47	0.3335	0.000	0.000	2.302	0.768
21年目	H 48	0.3207	0.000	0.000	2.302	0.738
22年目	H 49	0.3083	0.000	0.000	2.302	0.710
23年目	H 50	0.2965	0.000	0.000	2.302	0.683
24年目	H 51	0.2851	0.000	0.000	2.302	0.656
25年目	H 52	0.2741	0.000	0.000	2.302	0.631
26年目	H 53	0.2636	0.000	0.000	2.302	0.607
27年目	H 54	0.2534	0.000	0.000	2.302	0.583
28年目	H 55	0.2437	0.000	0.000	2.302	0.561
29年目	H 56	0.2343	0.000	0.000	2.302	0.539
30年目	H 57	0.2253	0.000	0.000	2.302	0.519
31年目	H 58	0.2166	0.000	0.000	2.302	0.499
32年目	H 59	0.2083	0.000	0.000	2.302	0.480
33年目	H 60	0.2003	0.000	0.000	2.302	0.461
34年目	H 61	0.1926	0.000	0.000	2.302	0.443
35年目	H 62	0.1852	0.000	0.000	2.302	0.426
36年目	H 63	0.1780	0.000	0.000	2.302	0.410
37年目	H 64	0.1712	0.000	0.000	2.302	0.394
38年目	H 65	0.1646	0.000	0.000	2.302	0.379
39年目	H 66	0.1583	-27.197	-4.305	2.302	0.364
合計			443.223	337.720	92.092	34.629
単純事業費計			470.420		92.092	

- 注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)
- 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。
- 注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

## 便益の現在価値算定表

箇所名: 駒馳山バイパス(事業全体・残事業)

年次	年度 (基準年) H19	総走行台キロの年次別伸び率 (山陰7ロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)						事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車種	貨物車種	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
暫定供用開始	H 27	1.00343	0.99581	1.00096	0.7307	17.30	4.43	5.17	3.09	29.99	21.91	2.32	0.30	1.44	0.81	4.87	3.56	2.64	1.93	37.49	27.40
1年目	H 28	1.00342	0.99579	1.00095	0.7026	17.30	4.43	5.17	3.09	29.99	21.07	2.32	0.30	1.44	0.81	4.87	3.42	2.64	1.85	37.49	26.34
2年目	H 29	1.00341	0.99577	1.00095	0.6756	17.30	4.43	5.17	3.09	29.99	20.26	2.32	0.30	1.44	0.81	4.87	3.29	2.64	1.78	37.49	25.33
3年目	H 30	1.00340	0.99576	1.00095	0.6496	17.30	4.43	5.17	3.09	29.99	19.48	2.32	0.30	1.44	0.81	4.87	3.16	2.64	1.71	37.49	24.35
4年目	H 31	1.00338	0.99574	1.00095	0.6246	17.30	4.43	5.17	3.09	29.99	18.73	2.32	0.30	1.44	0.81	4.87	3.04	2.64	1.65	37.49	23.42
5年目	H 32	1.00337	0.99572	1.00095	0.6006	17.22	4.41	5.16	3.09	29.88	17.95	2.31	0.30	1.44	0.81	4.85	2.91	2.63	1.58	37.36	22.44
6年目	H 33	0.99900	0.99441	0.99755	0.5775	17.22	4.41	5.16	3.09	29.88	17.26	2.31	0.30	1.44	0.81	4.85	2.80	2.63	1.52	37.36	21.58
7年目	H 34	0.99900	0.99438	0.99755	0.5553	17.22	4.41	5.16	3.09	29.88	16.59	2.31	0.30	1.44	0.81	4.85	2.69	2.63	1.46	37.36	20.74
8年目	H 35	0.99900	0.99435	0.99754	0.5339	17.22	4.41	5.16	3.09	29.88	15.95	2.31	0.30	1.44	0.81	4.85	2.59	2.63	1.40	37.36	19.94
9年目	H 36	0.99900	0.99431	0.99754	0.5134	17.22	4.41	5.16	3.09	29.88	15.34	2.31	0.30	1.44	0.81	4.85	2.49	2.63	1.35	37.36	19.18
10年目	H 37	0.99899	0.99428	0.99753	0.4936	17.22	4.41	5.16	3.09	29.88	14.75	2.31	0.30	1.44	0.81	4.85	2.39	2.63	1.30	37.36	18.44
11年目	H 38	0.99899	0.99425	0.99752	0.4746	17.22	4.41	5.16	3.09	29.88	14.18	2.31	0.30	1.44	0.81	4.85	2.30	2.63	1.25	37.36	17.73
12年目	H 39	0.99899	0.99422	0.99752	0.4564	17.22	4.41	5.16	3.09	29.88	13.64	2.31	0.30	1.44	0.81	4.85	2.21	2.63	1.20	37.36	17.05
13年目	H 40	0.99899	0.99418	0.99751	0.4388	17.22	4.41	5.16	3.09	29.88	13.11	2.31	0.30	1.44	0.81	4.85	2.13	2.63	1.15	37.36	16.39
14年目	H 41	0.99899	0.99415	0.99750	0.4220	17.22	4.41	5.16	3.09	29.88	12.61	2.31	0.30	1.44	0.81	4.85	2.05	2.63	1.11	37.36	15.77
供用開始年次	H 42	0.99899	0.99411	0.99750	0.4057	25.48	6.34	7.31	5.64	44.77	18.16	2.85	0.36	1.80	1.22	6.24	2.53	3.22	1.31	54.23	22.00
16年目	H 43	0.99618	0.99435	0.99563	0.3901	25.48	6.34	7.31	5.64	44.77	17.47	2.85	0.36	1.80	1.22	6.24	2.43	3.22	1.26	54.23	21.16
17年目	H 44	0.99617	0.99432	0.99561	0.3751	25.48	6.34	7.31	5.64	44.77	16.79	2.85	0.36	1.80	1.22	6.24	2.34	3.22	1.21	54.23	20.34
18年目	H 45	0.99616	0.99429	0.99559	0.3607	25.48	6.34	7.31	5.64	44.77	16.15	2.85	0.36	1.80	1.22	6.24	2.25	3.22	1.16	54.23	19.56
19年目	H 46	0.99614	0.99425	0.99557	0.3468	25.47	6.34	7.31	5.64	44.77	15.53	2.85	0.36	1.80	1.22	6.24	2.16	3.22	1.12	54.23	18.81
20年目	H 47	0.99613	0.99422	0.99555	0.3335	25.47	6.34	7.31	5.64	44.77	14.93	2.85	0.36	1.80	1.22	6.24	2.08	3.22	1.08	54.23	18.09
21年目	H 48	0.99611	0.99419	0.99553	0.3207	25.47	6.34	7.31	5.64	44.76	14.35	2.85	0.36	1.80	1.22	6.24	2.00	3.22	1.03	54.23	17.38
22年目	H 49	0.99610	0.99415	0.99551	0.3083	25.47	6.34	7.31	5.64	44.76	13.80	2.85	0.36	1.80	1.22	6.24	1.92	3.22	0.99	54.23	16.71
23年目	H 50	0.99608	0.99412	0.99549	0.2965	25.47	6.34	7.31	5.64	44.76	13.27	2.85	0.36	1.80	1.22	6.24	1.85	3.22	0.96	54.23	16.08
24年目	H 51	0.99606	0.99408	0.99547	0.2851	25.47	6.34	7.31	5.64	44.76	12.76	2.85	0.36	1.80	1.22	6.24	1.78	3.22	0.92	54.23	15.46
25年目	H 52	0.99605	0.99405	0.99545	0.2741	25.46	6.34	7.32	5.65	44.77	12.27	2.85	0.36	1.81	1.22	6.24	1.71	3.23	0.88	54.24	14.86
26年目	H 53	0.99540	0.99621	0.99564	0.2636	25.46	6.34	7.32	5.65	44.77	11.80	2.85	0.36	1.81	1.22	6.24	1.65	3.23	0.85	54.24	14.30
27年目	H 54	0.99538	0.99619	0.99562	0.2534	25.46	6.34	7.32	5.65	44.77	11.34	2.85	0.36	1.81	1.22	6.24	1.58	3.23	0.82	54.24	13.74
28年目	H 55	0.99535	0.99618	0.99560	0.2437	25.45	6.34	7.32	5.65	44.77	10.91	2.85	0.36	1.81	1.22	6.24	1.52	3.23	0.79	54.24	13.22
29年目	H 56	0.99533	0.99616	0.99558	0.2343	25.45	6.34	7.32	5.65	44.77	10.49	2.85	0.36	1.81	1.22	6.24	1.46	3.23	0.76	54.24	12.71
30年目	H 57	0.99531	0.99615	0.99556	0.2253	25.45	6.34	7.32	5.65	44.77	10.08	2.85	0.36	1.81	1.22	6.24	1.41	3.23	0.73	54.23	12.22
31年目	H 58	0.99529	0.99613	0.99554	0.2166	25.45	6.34	7.32	5.65	44.76	9.70	2.85	0.36	1.81	1.22	6.24	1.35	3.23	0.70	54.23	11.75
32年目	H 59	0.99527	0.99612	0.99552	0.2083	25.45	6.34	7.32	5.65	44.76	9.32	2.85	0.36	1.81	1.22	6.24	1.30	3.23	0.67	54.23	11.29
33年目	H 60	0.99524	0.99610	0.99550	0.2003	25.45	6.34	7.32	5.65	44.76	8.96	2.85	0.36	1.81	1.22	6.24	1.25	3.23	0.65	54.23	10.86
34年目	H 61	0.99522	0.99609	0.99548	0.1926	25.45	6.34	7.32	5.65	44.76	8.62	2.85	0.36	1.81	1.22	6.24	1.20	3.23	0.62	54.23	10.44
35年目	H 62	0.99520	0.99607	0.99546	0.1852	25.45	6.34	7.32	5.65	44.76	8.29	2.85	0.36	1.81	1.23	6.25	1.16	3.23	0.60	54.23	10.05
36年目	H 63	0.99506	0.99645	0.99548	0.1780	25.45	6.34	7.32	5.66	44.76	7.97	2.85	0.36	1.81	1.23	6.25	1.11	3.23	0.57	54.23	9.65
37年目	H 64	0.99501	0.99654	0.99547	0.1712	25.45	6.34	7.32	5.66	44.76	7.66	2.85	0.36	1.81	1.23	6.25	1.07	3.23	0.55	54.23	9.28
38年目	H 65	0.99496	0.99662	0.99546	0.1646	25.44	6.33	7.33	5.66	44.76	7.37	2.85	0.36	1.81	1.23	6.25	1.03	3.23	0.53	54.23	8.93
39年目	H 66	0.99491	0.99670	0.99545	0.1583	25.44	6.33	7.33	5.66	44.76	7.08	2.85	0.36	1.81	1.23	6.25	0.99	3.23	0.51	54.23	8.58
合計						895.22	224.78	260.33	187.54	1,567.88	547.90	105.97	13.52	66.70	42.75	228.93	82.16	120.11	43.51	1,916.92	673.57